



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	3,450	8.2	918		1,165		1,046	
2019年6月期第1四半期	3,757	11.3	428		673		482	

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 1,034百万円 (%) 2019年6月期第1四半期 470百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	77.42	
2019年6月期第1四半期	35.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	54,810	8,201	14.9	600.50
2019年6月期	53,346	9,562	17.8	702.38

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 8,141百万円 2019年6月期 9,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		25.00	25.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	13,557,400 株	2019年6月期	13,518,600 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	76 株	2019年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	13,519,206 株	2019年6月期1Q	13,517,324 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しております。

当社グループが手掛けるホテル業界におきましては、減少する韓国からの訪日外客数に対し、中国及び東南アジアからの訪日外客数がそれを上回る数で推移し、前年同期比(1月-9月)で100万人増となりました。ホテル業界は活況を呈しているものの、供給過多により稼働率、ADRともに苦戦しているエリアもあります。当社が主に取組んでいる京都エリアにおきましても供給の増加が続いておりますが、送客力のある委託運営会社とのJVや、京都四条近辺に特化した立地の優位性を活かし、デザイン性やコンセプトの差別化を図ることで、運営を軌道に乗せると同時に、竣工済物件及び期中竣工予定物件の販売を今期中に随時進めてまいります。

不動産業界におきましては、首都圏のファミリーマンション、都区部のコンパクトマンションは好調に推移しており、当社においても順調な販売活動を行っております。また、都心部の収益物件も流動性が高く、堅調に推移しております。当社におきましても、引き続き首都圏の実需マンション、投資物件の仕入に積極的に取組み、売上げを増加してまいります。

新築分譲戸建の価格は下降傾向にあり、都心回帰、団塊世代の戸建てからマンション住まいへの移行、購買意欲のある若年層のマンション志向が強くなっております。これらを背景に当社の戸建事業においては、物件を厳選し、開発の抑制をする方針で進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,450百万円(前年同期比8.2%減)、営業損失918百万円(前年同期は428百万円の営業損失)、経常損失1,165百万円(前年同期は673百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失1,046百万円(前年同期は482百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ小岩」、「ウィルレーナ東十条」や収益物件の引渡等により、合計15戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高883百万円(前年同期比31.6%減)、営業損失19百万円(前年同期は営業利益147百万円)となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第1四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高218百万円(前年同期比556.7%増)、営業損失642百万円(前年同期は376百万円の営業損失)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「江戸川区江戸川プロジェクト」、「新宿区山吹町プロジェクト」、「世田谷区代田プロジェクト」等、分譲43戸、請負工事15戸、計58戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,041百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益0百万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部23物件40戸、東京都下2物件2戸、埼玉県7物件84戸、千葉県1物件1戸、山梨県2物件2戸、茨城県1物件3戸、合計36物件132戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高172百万円(前年同期比197.2%増)、営業利益54百万円(前年同期は62百万円の営業損失)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2019年9月30日現在のマンション管理戸数が3,486戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高107百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益9百万円(前年同期比35.1%減)となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高57百万円(前年同期比30.9%増)、営業利益22百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,464百万円増加し、54,810百万円となりました。負債については前連結会計年度末から2,825百万円増加し、46,609百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から1,360百万円減少し8,201百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が909百万円減少、仕掛販売用不動産が3,267百万円増加したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が4,056百万円増加、買掛金が395百万円減少、及び未払法人税等が526百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が1,384百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想につきましては、全事業の中で売上割合の高いホテル事業において、ホテル販売及び運営のスキームの見直しを現在行っておりますが、現時点では業績に影響を与えると思われる未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,305,895	9,396,876
売掛金	532,791	61,006
完成工事未収入金	272,316	127,485
販売用不動産	12,539,587	12,038,238
仕掛販売用不動産	22,717,885	25,985,340
前払費用	538,137	682,344
その他	1,572,609	1,604,835
流動資産合計	48,479,224	49,896,127
固定資産		
有形固定資産	2,185,540	2,091,036
無形固定資産	3,285	4,214
投資その他の資産		
投資有価証券	567,469	587,129
破産更生債権等	218,749	218,749
長期貸付金	381,177	372,714
繰延税金資産	120,925	272,326
その他	1,674,594	1,652,807
貸倒引当金	△284,725	△284,225
投資その他の資産合計	2,678,189	2,819,502
固定資産合計	4,867,015	4,914,752
資産合計	53,346,240	54,810,879
負債の部		
流動負債		
買掛金	956,113	560,277
短期借入金	6,824,639	7,560,637
1年内返済予定の長期借入金	11,660,336	14,630,632
1年内償還予定の社債	1,522,000	1,520,000
未払金	314,925	247,294
未払法人税等	570,331	44,182
未払消費税等	86,920	42,873
前受金	713,471	704,854
賞与引当金	13,985	53,364
その他	499,091	233,342
流動負債合計	23,161,814	25,597,458
固定負債		
社債	395,000	300,000
長期借入金	19,560,207	20,009,693
繰延税金負債	402,532	408,136
その他	264,471	294,142
固定負債合計	20,622,211	21,011,974
負債合計	43,784,025	46,609,432

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,731	414,024
資本剰余金	1,350,960	1,360,253
利益剰余金	7,705,510	6,320,915
自己株式	△33	△33
株主資本合計	9,461,168	8,095,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,392	46,178
為替換算調整勘定	1,638	△132
その他の包括利益累計額合計	34,030	46,045
新株予約権	67,015	60,242
純資産合計	9,562,215	8,201,447
負債純資産合計	53,346,240	54,810,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,757,562	3,450,769
売上原価	3,179,141	2,788,811
売上総利益	578,421	661,958
販売費及び一般管理費	1,007,238	1,580,241
営業損失(△)	△428,816	△918,283
営業外収益		
受取利息	3,361	9,565
受取手数料	3,055	2,798
為替差益	39,610	—
解約精算金	700	5,144
その他	12,488	6,767
営業外収益合計	59,215	24,276
営業外費用		
支払利息	125,916	139,477
持分法による投資損失	72,736	17,433
支払手数料	102,368	94,704
為替差損	—	17,215
その他	2,761	2,787
営業外費用合計	303,784	271,617
経常損失(△)	△673,384	△1,165,624
特別利益		
新株予約権戻入益	—	332
特別利益合計	—	332
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△673,384	△1,165,292
法人税、住民税及び事業税	106,607	33,740
法人税等調整額	△297,432	△152,401
法人税等合計	△190,824	△118,660
四半期純損失(△)	△482,560	△1,046,631
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△482,560	△1,046,631

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△482,560	△1,046,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,518	13,785
為替換算調整勘定	△3,404	△1,771
その他の包括利益合計	12,113	12,014
四半期包括利益	△470,446	△1,034,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△470,446	△1,034,616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,291,887	33,257	2,237,348	42,469	108,948	3,713,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	15,570	—	15,570
計	1,291,887	33,257	2,237,348	58,039	108,948	3,729,481
セグメント利益又は 損失(△)	147,781	△376,601	△1,342	△62,887	14,314	△278,736

(単位:千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	43,651	3,757,562	—	3,757,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,570	△15,570	—
計	43,651	3,773,132	△15,570	3,757,562
セグメント利益又は 損失(△)	21,108	△257,628	△171,188	△428,816

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,188千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△165,188千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	883,292	218,405	2,041,639	142,772	107,507	3,393,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	29,715	—	29,715
計	883,292	218,405	2,041,639	172,488	107,507	3,423,333
セグメント利益又は 損失(△)	△19,788	△642,966	568	54,499	9,286	△598,399

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	57,152	3,450,769	—	3,450,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,715	△29,715	—
計	57,152	3,480,485	△29,715	3,450,769
セグメント利益又は 損失(△)	22,085	△576,314	△341,968	△918,283

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△341,968千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。